

令和4年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる  
「共同研究班」 研究報告書

令和5年 1月 31日現在

研究課題名	④スラブ・ユーラシア地域の文化・言語		
担当者	氏名		所属機関・職
	1	安達大輔	SRC・准教授
	2	野町素己	SRC・教授
班員	氏名	所属機関・職	専門とする研究分野
	金沢友緒	電気通信大学・講師	ロシア文学
	研究テーマ		
	18～19世紀ロシア文学・文化 比較文化		

## 研究成果の概要

本研究は、主に19世紀ロシアの貴族作家が大衆文化の中に受容されていくプロセスを明らかにする作業を通じて、ロシアの出版文化のマジョリティとマイノリティの関係の理解を目指したものである。19世紀ロシアにおいて、拡大する読者層の需要に応える形で文学は急成長を見せていくが、作家の出自の多様化に伴い、前の時代の文壇を牽引してきた貴族出身の作家は相対的に表舞台から後退していく。しかし他方で作家としての活路を見出していく貴族達も少なからず認められた。本研究では彼らの活動に注目し、近代ロシアにおける貴族文化が読書の大衆化の中でどのように生き延びていったのか、その経緯を明らかにすべく、18世紀及び19世紀の貴族作家達の活動を調査し、各々が模索したアダプテーションのスタイルを考察した。

まず、19世紀に先行する時代の営みとして、18世紀後半の作家達の動向を踏まえることから作業を開始した。この時代には、エカチェリーナ2世が国内の出版文化の活性化を目指して各種政策を実施し、自身も意欲的に執筆活動に取り組んだ。君主と周辺の作家の間で時には誌面上で対立する動きも見られたが、作家・詩人はロシア社会の啓蒙を目指していた点において、為政者と同様の目的意識を共有していたことがうかがえた。主に女帝が支援していた雑誌の掲載作品を取り上げ、当時の社会的動向や作家達の反応を考察した。

次の作業として、19世紀中葉から後半にかけて作家の出自や身分が多様化し、雑階級作家が増加する中で、なお活動を続けた貴族作家達の作品、具体的にはA.K,トルストイ、И.С.トゥルゲーネフ、B.Φ.オドエフスキー等の作品に注目し、その特徴を考察した。

**研究成果の概要（続き）**

例えばオドエフスキーは、哲学的で銜学的な『ロシアの夜』の作者として知られているが、彼は貴族に馴染みのサロン文化に通じるのみならず、様々な分野の学問や芸術に関心を持っていた。彼は食文化や同時代のロシア生活に関する知識を用いて、『同時代人』誌の中に、自然派のスタイルが窺える「料理考」を連載していた。

本研究の一環として、ロシアの読書社会と文壇の活性化に大きく寄与した詩人ネクラースフの専門家であるマリヤ・ダニレフスカヤ氏をゲストに迎えて、オンラインセミナーを実施した。有能な雑誌編集者としての顔が知られ、多くの同時代の文人達と交流を持っていたネクラースフであったが、自身は貴族の出身で、前時代のロマン主義的要素を受け継いだ詩作も行っていた。ダニレフスカヤ氏には、彼の詩人としての創作スタイルについて報告をお願いした。

研究遂行にあたっては、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターの図書室にて資料収集を行った。成果の一部は日本18世紀ロシア研究会、電気通信大学の紀要論文、18世紀学会国際大会(ローマ大会)等で発表した。

**主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）※謝辞の有無について明記願います。**

T.Канадзава, А.К.Толстой и мотив «времени», круглый стол «Личность А. К. Толстого: писатель, историк, наставник», Брянский областной театр драмы им. А. К. Толстого, 5 сентября, 2023. (オンライン) (謝辞無し)

金沢友緒「18世紀後半ロシアに見るヨーロッパ啓蒙史への一視点」『日本18世紀ロシア研究会年報』第20号, 2023年, pp.18-37.(謝辞無し)

Tomoo Kanazawa, "Clocks" and "Time" in XVIII Russian Literature, 16th International Congress for Eighteenth-Century Studies, Rome, Italy, 3 – 5 July, 2023. (謝辞無し)

金沢友緒「19世紀前半ロシアとВ.Ф.オドエフスキーの「料理考」」『電気通信大学紀要 35(1)』, 2023年, pp.13-22. (謝辞無し)

金沢友緒 企画 SRC セミナー「19世紀ロシアにおける作家と文壇：H.A. ネクラースフと同時代人」(講演者：マリヤ・ダニレフスカヤ, 司会・イントロダクション：金沢友緒, 言語：ロシア語), 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター主催, 科研若手研究B共催(研究代表者：金沢友緒) 2023年2月10日(オンライン開催). (謝辞有り)

**当該研究活動をもとに採択された研究プロジェクト（応募中の研究プロジェクトを含む）**

現段階ではありません。

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。